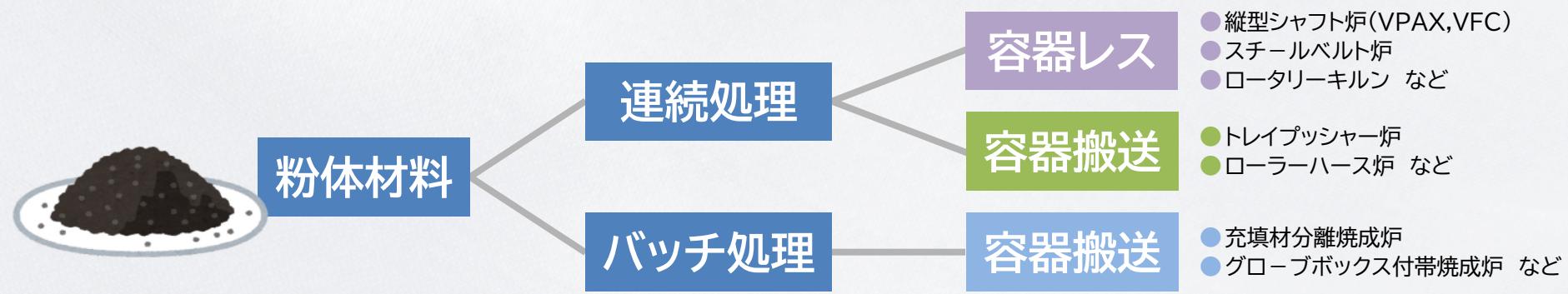


粉体熱処理設備ラインナップ あらゆる粉体の加熱ニーズに対応

電極材料、磁性粉材料、セラミックスや炭素粉末などの熱処理は、材料性状・雰囲気・圧力・温度・処理量によって様々な処理方式がありますが、中外炉はテスト設備から量産設備まで、様々な処理方式に対応いたします。試験装置で処理条件・方式を検証し、最適な装置をご提案いたします。



- 縦型シャフト炉(VPAX,VFC)
- スチールベルト炉
- ロータリーキルン など
- トレイプッシャー炉
- ローラーハース炉 など
- 充填材分離焼成炉
- グローブボックス付帯焼成炉 など

容器レス連続処理

こう鉢、鞘などの容器の加熱・冷却やリターンラインを不要とするシステムで、容器更新を含めたランニングコストの低減、設置スペースの削減が可能です。大気中での酸化や水素還元処理も可能なロータリーキルン、シャフト型連続粉体焼成炉(VPAX)もご用意しています。

■ ロータリーキルン
 材料を均一に急速加熱します

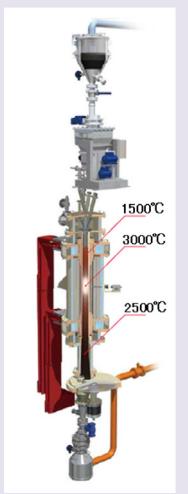
処理温度: MAX 1,000°C
 処理雰囲気: 空気, Ar, N₂, H₂ など



■ シャフト型連続粉体焼成炉 VPAX
受託試験可能

粉体材料を炉内シャフトにより連続高温処理します。エネルギーコスト、材料ハンドリングに優れます。

処理温度: MAX 3,000°C
 処理雰囲気: Ar, N₂



■ スチールベルト炉
 材料をベルトで直接搬送し連続処理します。磁性粉や鉄粉などの酸化、電極材の乾燥、炭化、賦活に適しています。

処理温度: MAX 1,000°C
 処理雰囲気: 空気, N₂, H₂ など



容器搬送連続処理

■ トレイプッシャー炉
 炭素、セラミックス粉末の脱脂、焼成などで多数の実績があります。

処理温度: MAX 2,800°C
 処理雰囲気: Ar, N₂



■ ローラーハース炉
 仕切扉による多室化が可能で、様々な用途に展開できます

処理温度: MAX 1,300°C
 処理雰囲気: Ar, N₂



様々な条件に対応できるタイプです。ラインナップはお問い合わせください。あらゆる条件に対応する提案をいたします。

バッチ型熱処理炉

■ 充填剤分離焼成炉
受託試験可能

温度、圧力条件を整え充填材・異物を乾式除去、純化します。除去材は回収部に集約捕集します。湿式除去⇒乾式除去+焼成工程を削減します。



処理温度: MAX 2,600°C 圧力: Vac.~0.98MPaG
 処理雰囲気: Vac, Ar, N₂

■ 小型マッフル炉 **受託試験可能**

処理温度: MAX 1,000°C
 処理雰囲気: 酸化、不活性



■ グローブボックス付帯焼成炉
受託試験可能

加熱室処理温度: MAX1,000°C
 加熱室処理雰囲気: 腐食性ガス対応
 グローブボックス 雰囲気: DP-60°C以下
 置換ボックス(パスボックス)付
 アウトガス除害装置付